

第5学年1組 外国語科学習指導案

令和5年6月27日（火）5校時
男子12名 女子10名 計22名
指導者 HRT: 山口 亜希
ALT: Christina Higgins

1 単元名 Unit3 What do you want to study?

2 単元の目標

- 学びたい教科やなりたい職業を伝える語句や表現を身に付けている。活字体の大文字と小文字について理解することができる。 【知識及び技能】
- 学びたい教科やなりたい職業を伝える目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 他者に配慮しながら、学びたい教科やなりたい職業を主体的に伝えようとしている。世界や日本についての理解を深めようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、学びたい教科やなりたい職業を題材とし、自分が特に学びたい教科やなりたい職業についてたずねたり答えたりする表現ができるようにする単元である。自分になりたい職業につながる学びたい教科をわかりやすく伝えたり友達の思いを聞いたりする活動を通して、自分のことを知ってもらい喜びや友達のことを知る楽しさを味わい、相手意識を持って積極的にコミュニケーションを取ることができる価値ある単元である。前単元では、自分の誕生日、誕生日に欲しいものなどを伝え合う学習を行ってきた。本単元では、自分の将来に目を向けそのために何を学びたいかという目的意識を高めることができ、自分の思いを自分らしく伝えようとする表現が可能である。5年生になり、クラス替えがあり友達関係を広げようとする現在の様子から、友達のなりたい職業や学びたい教科を知ることは友達のことを理解するきっかけとなり、新たな発見があると思われる。また、自分の学びたい教科をなりたい職業と結び付けて友達に紹介することは、児童にとって身近なことであり意欲的に取り組むことができる。また、前学年までの天気や曜日を表す表現を繰り返し学習することでスパイラルな学習活動が設定でき、自分の英語表現を豊かにすることのできる構成となっている。

○児童観

本学級の児童の、外国語学習に関する実態は以下の通りである。(単位：人)

	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
① 外国語の学習は好きですか。	13	9	0	0
② 外国語を話すことは得意ですか。	2	8	9	3
③ 外国語は大切だと思いますか。	19	3	0	0

アンケートの結果から、外国語の学習が好きであると答えた児童がほとんどであるが、外国語を話すことに関しては、半分の児童が得意ではないと答えており、自信を持っていないことがわかる。歌やチャンツなどみんなで声を出す活動には生き生きと取り組むが、1対1のインタビュー活動では、正しく発音しなくてはいけないという意識が先に立ち、声が小さくなってしまふことがある。そこで、**Small Talk** への取組を通して、会話をすることへの抵抗を少なくし、自分からチャレンジした時には、大いに賞賛し自信を持たせるように仕組んできた。外国語を学ぶことに関しては、全員が大切である、ほぼ大切であると答えていることから必要性を感じていることがわかる。外国の人と話したいから、将来外国の人と一緒に仕事をしたいから、外国に行きたいからなど、将来の夢に関連した前向きな考えを持っている児童が多く見られた。

○指導観

指導に当たっては、第1時～第2時で教科や職業を表すために必要な表現に十分慣れ親しませる。ALTの発音をしっかりと聞かせ、自信を持って発音できるようにする。第3時～第4時には、学びたい教科やなりたい職業をたずね合う活動を行う。この活動は、第5時の**Enjoy Communication**に直結する内容なのでていねいに指導していく。自分のなりたい職業につながる学びたい教科を伝え合うことで、自分らしい表現が可能になることを伝え、児童が使いたい語句や表現が使えるようにする。また、本単元と並行して総合的な学習で、「夢の教室」を受講する。夢先生の話聞くことで、夢を持つことの素晴らしさや、夢を叶えるための努力や苦労などについて理解するきっかけとしたい。さらに、**GIGA** タイムを活用して自分になりたい職業について調べる学習を取り入れ職業に対する興味や関心を高めていく。本時では、**Activity**での友達とのコミュニケーション活動を通して、話す側、聞く側のポイントを自分たちで考え目的や状況に応じて自分の思いを伝え合えるように仕組んでいく。前単元までに学習した表現を生かしながら、**Small Talk** や **Activity** の中でさらに会話を豊かにするための英語表現を紹介することで児童が必要な時に活用できるようにする。単元終末では自分たちの将来について考えるきっかけになるように「**Christina** 先生や四小の先生方に『夢に近づく時間割』を紹介しよう!」という活動を設定することで、よりわかりやすく伝えようとする意識を持つことができ、相手意識や目的意識を持って取り組めると確信する。

【言語活動の設定】

自分の夢に近づく時間割を考えるために、友達やALTに自分が学びたい教科やなりたい職業を紹介し合い、お互いの将来の夢などを認め合うことで、目的意識や相手意識を持ちながら、自分の思いを生き生きと伝える児童の育成につながると考える。

4 取り扱う言語材料

○What do you want to study? I want to study ~.

What do you want to be? I want to be a~.など。天気 (Sunny など)、曜日 (Sunday など)、気分 (fine など)、教科 (English など)、職業 (artist など)、児童が使いたい表現を使う。

5 単元計画（全8時間） 本時4／8

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に取り 組む態度
1 2	学びたい教科やなりたい職業についておおよその内容を理解する。	○		
3 4	学びたい教科やなりたい職業についてたずね合う。 【本時】	◎ ○	○ ◎	
5 6	「夢に近づく時間割」を作って学びたい教科やなりたい職業について紹介する。		◎	
7 8	世界の授業などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。			○

※単元のゴール・・・Christina先生や四小の先生方に「夢に近づく時間割」を紹介しよう。

6 本時の学習（4／8）

（1）目標

○相手に伝わるように、自分のなりたい職業について伝え合う。 【思考・判断・表現】

（2）本時の視点

○友達に自分のなりたい職業を紹介するという場面を設定し、そのために学びたい教科などを関連させて伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションを取ることができたかを検証する。

(3) 展開

過程	児童の活動	教師のかかわり・指導上の留意点		
時間	学習活動	HRT	ALT	備考
Warm up ⑩	1 Greeting ○あいさつをする。 Let's start English! ○気分、天気、曜日、日付などを答える。	○一緒にあいさつをする。 ○必要に応じて補足する。	○あいさつをしたり、気分、天気などについてたずねたりする。 ○ジェスチャーを交えてリズムよく話す。	
	2 Small Talk ○ペアで好きな教科について話す。	○リアクションやくり返しの表現を使って、会話をつなげさせる。	○HRTとデモンストレーションをする。 ○児童と一緒に活動し、会話をする。	
Main act 1 ⑤	3 単元のゴールを確認する。	○単元の終末でALTや四小の先生方に自分達の夢に近づく時間割を紹介することを伝える。	○自分のなりたい職業を紹介する。(子供の頃)	
	4 Today's goal ○本時の課題をつかむ。	○ALTのなりたい職業の紹介から課題につなげる。		
相手に伝わるように、自分のなりたい職業を紹介しよう。				
Main act 2 ⑳	5 Practice ○教科書 P29「Let's Listen②」に取り組む。	○教科書 P29「Let's Listen ②」を通して、学びたい教科となりたい職業の関係をつなげる。	○発音を担当する。 ○「I want to be a～」の表現を発音する。	
	6 Activity① ○<3ヒントクイズ> 3人～4人のグループで ・好きな教科や学びたい教科など、グループで1人が3つヒントを出す。 ・あとの2人が3つのヒントに合うような職業を当てる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★POINT (伝わるためのポイントを自分で選ばせる)</p> <p>①好きな教科、学びたい教科を紹介する。</p> <p>I want to study music.</p> <p>I want to study P.E.</p> <p>I like dancing.</p> <p>②聞いた教科から友達のなりたい職業を推測する。</p> <p>Dancer?</p> <p>That's right. → I want to be a dancer.</p> </div>		

めあてカード

評価【思】

	<p>7 Activity② <Interview game> ・なりたい職業や学びたい教科について。</p>	<p>○デモンストレーションをする。</p>	<p>○デモンストレーションをする。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>Looking back ⑩</p>	<p>8 Looking back ○本時の振り返りをする。 (Writing)</p> <p>9 Goodbye ○終わりのあいさつをする。 Let's finish. See you next week.</p>	<p>★POINT clear voice eye contact A: Hello! What do you want to be? B: I want to be a ~. A: What do you want to study ? B: I want to study ~. A: Good! I see.など (交代してインタビュー)</p>	<p>○ポイントを意識して活動している児童を賞賛する。 ○児童の頑張りを賞賛したり、戸惑っている児童の支援をしたりする。</p>	<p>評価 【思】</p>
		<p>○学びたい教科が同じでもなりたい職業が違うことなどに触れたりする。 ○本時の学習を振り返り発表させる。 ※簡単な単語（なりたい職業）の書き写しをさせる。 ○次時の活動を伝える。</p>	<p>○一緒にあいさつをする。</p>	<p>評価 【思】 【知】 振り返りカード</p>

(4) 評価

○相手に伝わるように、自分のなりたい職業を紹介し合うことができたかを、行動観察や振り返りカードで評価する。
【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

Unit Goal 自分の夢に近づく時間割を、四小の先生方や Christina 先生に紹介しよう。		
Today's Goal 相手に伝わるように、自分のなりたい職業を紹介しよう。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">Small Talk</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">Activity ①</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">Activity ②</div>
<p>○好きな教科について</p>	<p>◎3 ヒントクイズ コミュニケーションポイント (自分で選ぶ。)</p>	<p>◎Interview game Eye contact Clear voice なりたい職業 学びたい教</p>